



最初
最初の
男と女

Levi X Hanz

R18

adult only

と

ひ

知識は魂の糧

探究心と好奇心と
行動力——
!!!

その果てに
英霊となった
我らが戦友に

乾杯!!!



今回の壁外調査は
かなり上手く
いったんじゃないか？

被害も
少なくてすんだし

エルヴィン団長の
作戦のおかげだな

新型のアンカーも
良かったよな
開発班の奴ら
やるな

うんうん
そうだよな

うんうん
そうそう

人は新しい
知識を得て
前進する


まさに糧、
燃料だよな!!!

お前はほんと
そればかりだな
知識知識ってよ

頭でっかちも
よくねーぞ？

いやいや
私は本能に
従ってるんだよ？

本能？




人はさ
産まれたときから
答えを求めようよ
に
できているんだよ

原因が
わからなければ
都合のいい
答えを求め




それが宗教さ



教団の奴らと
一緒にされたくは
ないよね

本当に
口の減らねえ
奴だな

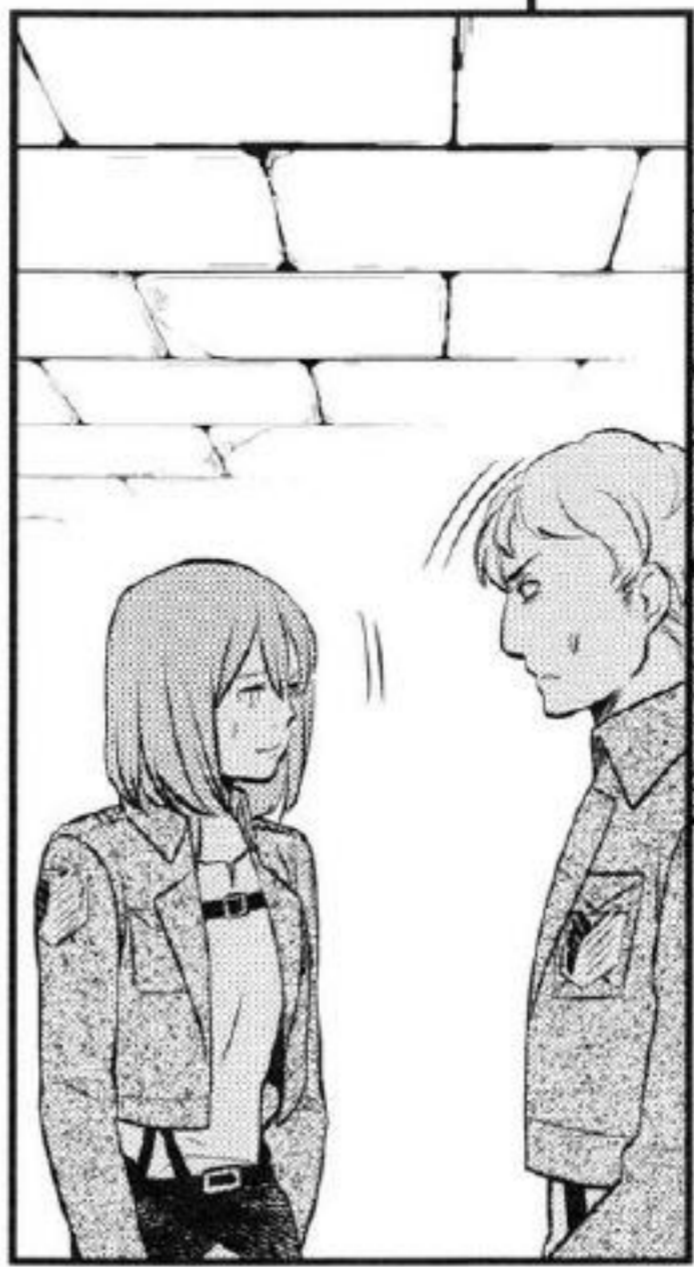


お酒だって知識
試行錯誤を経て
美味しく
なったんだよ？

わかったわかった
知識に乾杯だ

——随分と
真面目な宴会だな





ここも地下と
たいして
変わらねえか



気に入らねえモノ
都合の悪いモノからは
目をそらす



諦め切った
暗い

——地下の奴らほど
目は死んじやいねえが



瞳

母さんも

たまにそんな目を
していた――



リヴァイ
帰ったの？

だが





リヴァイは
あったかいね

もう少し
このままで
いさせてね



もう平気
嫌なことなんて
忘れちゃったよ



ちよつとね
嫌な客に
当たっただけ

たいしたことないの
だからね？
そんな顔しないで

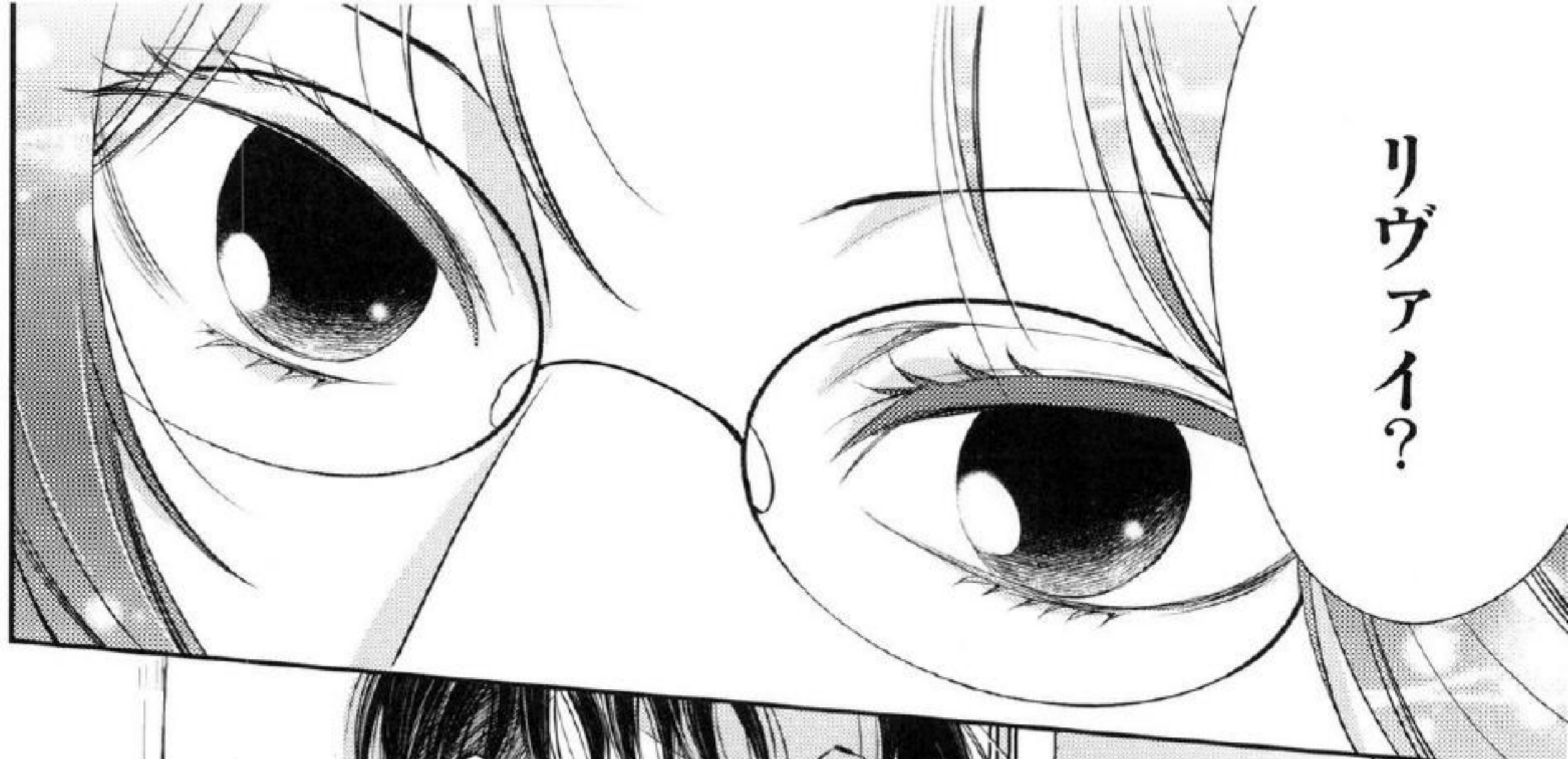
ふふ



私の可愛い
リヴァイ——



リヴァアイ？



いや、
何度呼んでも
返事がないから



え...と
あ...ごめん

...顔が
ちけえ





あ、それとも
申請書の記入方法
書いた本、
読むかい？

どうする？

——
本でいい



目をそらさねえ



了解
私の部屋に
あるはずだから

取りにおいでよ

ほら
こっちだよ

わかった

アッ



ガキの頃
以来か――

自分以外の――



女の瞳に映った
自分を見るのは





ん

どこだったかな

悪いけど
ちよつと座って
待っててよ

座る？

どこにだ









うん
あ、提出は
二三日中で
よろしく

わかった



——
いや



翌日







あ、でも
大事に
扱ってね

貴重な本
だから

床に
転がってたぞ

ああ？

あ、あは
だよ
反論できない

それで書類は
どうなんだ

概ね問題ないけど
紅茶の申請は
今は無理かな



今は？

君が「長」の付く
役職になったら
有りかもね

ああ、
道理だな



力は必要だ

知識もだよ



武器は

多い方が
いいだろう？



……わかった
書類は修正して
出しておく

うん
よろしく



——ああ
そうだな

うん
その本返すのは
いつでもいいよ

……

じゃあな

うん

またね
リヴァイ



アハハ...



彼は貴重な
人材だ

慣れるまでは
彼について
詮索するのは
禁止する

ごく自然に
対応するのが
望ましい

自然に
出来たかな

カーン

何回くらい
話をしたら
「慣れた」ってことに
なるんだろ……

あ、でも
数日後には
貸した本返しに
来るだろうから
また次を貸せば
打ち解けられるかな

なにか
お薦めを……

ああっつ!!!

まあいいか
選びやすく
なったし

ちぎちぎ……

リヴァイが
来るまでに
片付ければ……

翌日

読んだぞ

いくらなんでも
早くないかい？
ちゃんと寝た!?

寝ている

え…

いやでも……
えええ？

俺は
三時間寝れば
問題ない

えええ
本当に!?

私は集中してると
眠気吹っ飛んで
二三日徹夜しちゃうこと
多いけど、その後は
倒れて寝すぎて
暫く使い物にならないし

あうっ



信じられねえ
……だが思っていた
以上に――

壁の中は
狭いな

うん

そうだよ

この目で
確かめないとね

あ、もし良かったら
次はこの本
読んでみないかい？

この本は
壁の外の世界について
昨日貸した本とは
別ことが書いてあるんだ

一冊の本には
収まり切らない
情報量なんだよ

どうかな？

夜あまり寝ないなら
時間を持て余すだろ？
待機中は外出できないし

そうだな
借りておく

次もまた
何か選んで
おくから

良かったら
遠慮せずに
借りていきなよ

——
ああ

それから何度も
本を選んで
貸して、
そしてまた選んだ

心配しなくても
大丈夫だよ
エルヴィン

どんなに
生まれ育ちが
違っていようと

同じ志を
持っていれば

仲間
になれるよ





寝ちゃってるし



あ、そっか
少しいや結構前に
生返事したような……

あーちょっと
まっ……

カリカリカリ
カリカリカリ
カリカリ



むしろ
ちよつと
可愛いかも



寝てるとさすがに
目つきの悪さも
わかんないね



わあ!! やつぱり
怖い!!!

…書き物は
終わったのか

ムッ

いやまだ…
ちよつと
休憩しようかと
待たせてごめん

終わらないなら
「待て」と言うな

だよ
ほんとごめんよ

このところ
毎晩来てるよね

そんなに読書
気に入った？

はいこれ
次の本

なら
一冊ずつじゃなくて
何冊かまとめて
貸そうか？

いちいち
借りにくるの
面倒だよ

ああ？

男が女の部屋に
通う理由なんぞ

一つしか——

え…

……ねえ

ええつ……と……

ガ
ガ
ガ
ツ





クソッ



そうなんだ

そ……っか

ちよつと
寝て……

起きたらちちゃんと
考えよう——



俺は

簡単なことだ
答えは一つしかねえ



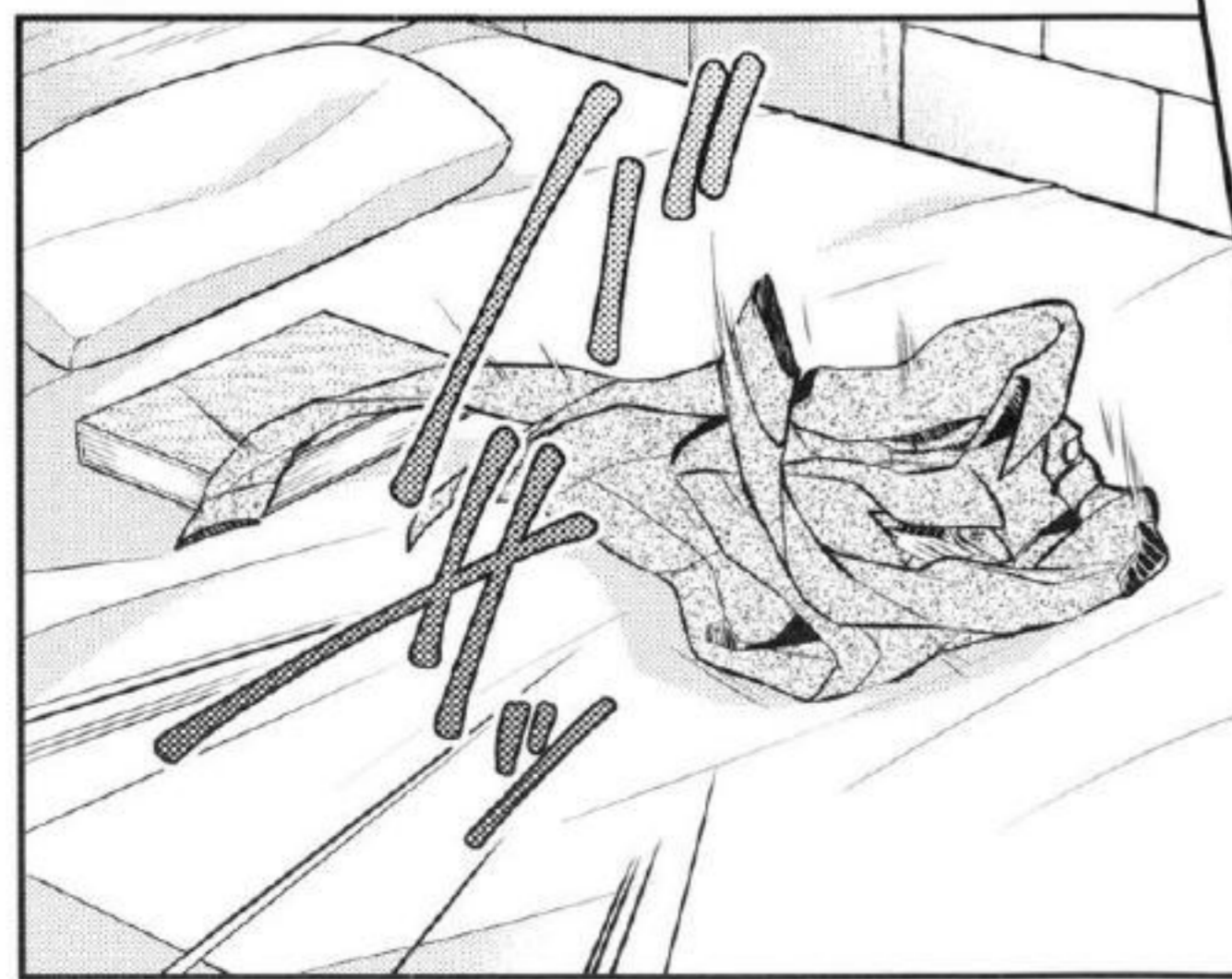
あいつの目に
俺を



映したいと

もっと
近くで

近づく——



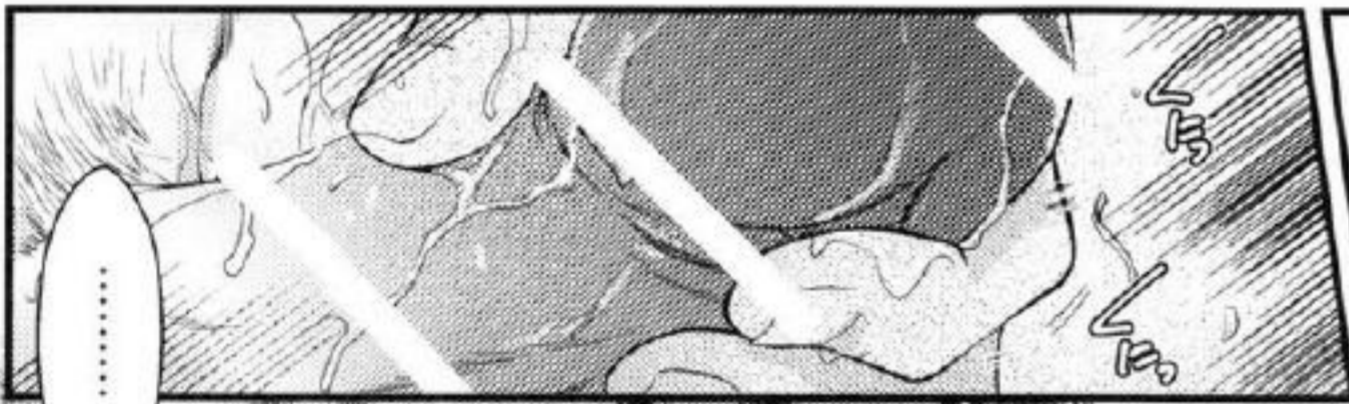


自覚したとたん
勃ちやがる



クソツ

なんだってんだ…



……

「考えても
いなかった」
そんな面だった



だが
それでも



俺を
真っ直ぐ見ていた



目をそらしたのは
俺だ——



落ち着いたが
落ちたんだ



どの本を
読んでも
感想を聞かれた


答えれば
解説や自分の
感想が返ってきた



あいつの
目には多分——

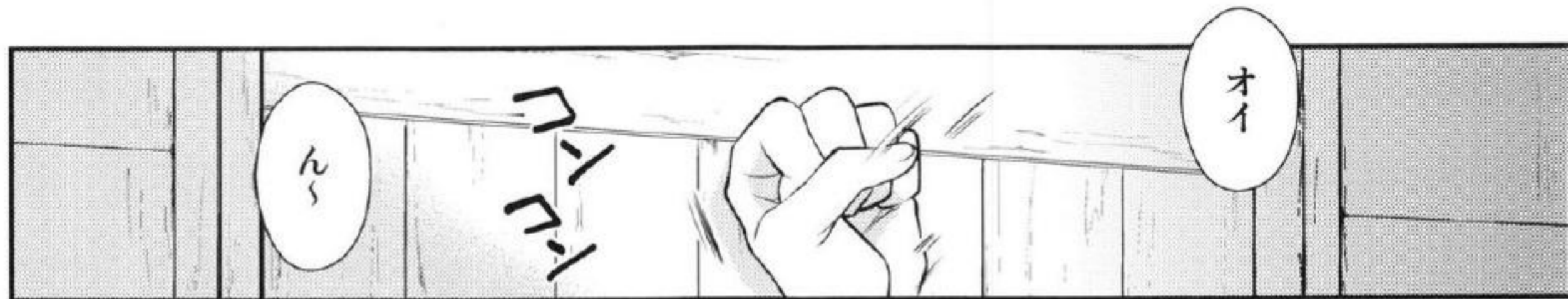
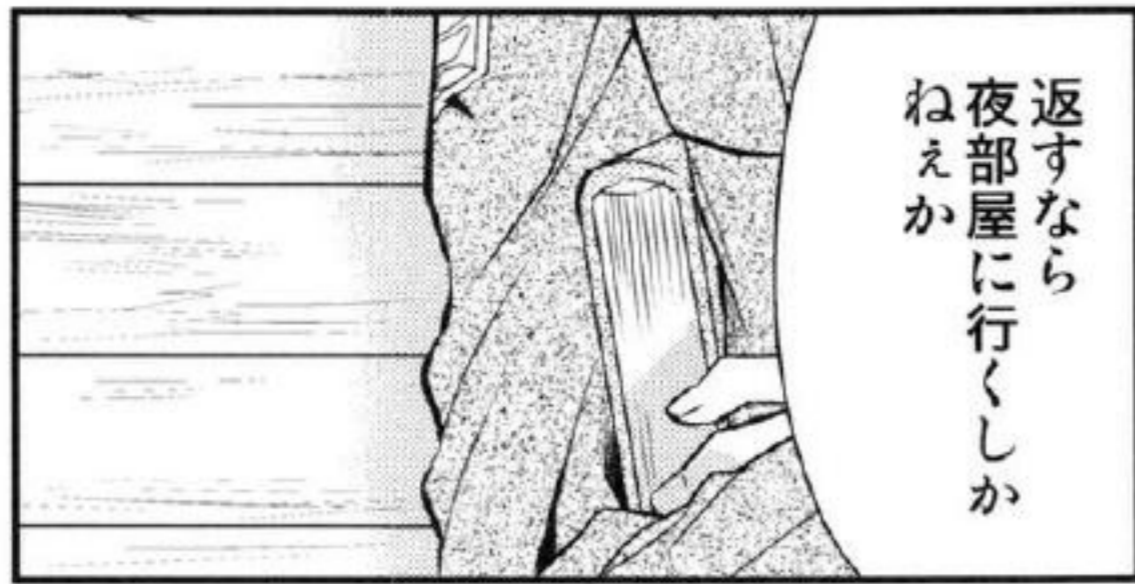


あいつは
あの量の本を
ちゃんと読んで
把握してやがる



いろんな物が
映っているはずだ

俺よりも
たくさんの……





本、返すぞ
ここに置いておく

うん
ちよっと待ってて

終わるのか

うん、
もうちよっと
だから



何日も
風呂に入って
ねえようだし



本当だな

うん



あいかわらず
汚ねえ部屋だな

イラッ



見てるんだ



何を





わあ
怖い!!!



服のまま寝たら
風邪引くよ



え?毛布?
そういや
しばらく
洗ってないや

……臭えな

てめえの
方だ



え?

毎日風呂に
入れるんだからな



風呂に入れ

あ……はい

もじり



本を貸した後に
返ってくる
短い感想は

私が思っても
いなかった
でも言われてみれば
確かにそうだと
感じるモノばかりだった

今みたい
違う視点から
物事を捉えてた

君と話した
私の中で
新しい扉が
開く

そんな気持ちに
なったんだよ

育ってきた
環境故か

それとも
生まれ持った
モノなのか

君ともっと
話したいよ
……リヴァイ

にしても
本当に
よく寝てるし
……

大丈夫かな
その毛布
いつも使ってて
結構汚いの……





はは
安心しきった
顔しちゃって……

もしかして
私の匂いで
安心する……とか？



好きな
女の



いやいやいやいや
ないないないない!!!

ぎゅわっ



お……風呂
入る……









そんな訳でさ

私、
処女なんだよね

えん



そ……その歳でか

え？そりや
早くはないけど
そんなに驚く
ことでも……

あ!!!もしかして
地下では違うのかい?

ん



処っ……!!?



畑がもっとあれば
牧場が、狩り場が……
土地があるだけで
選択肢が増える――

可能性が
広がって

世界のあり方は
変わる――

だから私は
調査兵団に――

ふふ

やっぱり
君と話すのは
とてもいいね

なんだ

もっと……

もっと
話したいな

性行為に興味あるしね☆

男性器にも

なかなか
間近で見る
機会無いしさ

男性器……

!?

てめえ
酔ってるだろ

酔ってるよ？
女の部屋に
通う最終目的は
一つだろ？

ねえ見せてよ

ま…待て

いいだろ
もう既に
勃起状態に
なりつつあるじゃ
ないか

したいんだろ？
嫌なら本気で
抵抗しなよ

君、私より
強いんだし



おお
ご立派!!!



治療のときは
観察してる場合じゃ
ないし……
あ、でも勃起状態は
はじめてかな



み…見たこと
あるのか?
処女なんたる

おーおー
おーおー

あるよ?
水場でちらつととか
あと応急手当の時とか

オヤジ



なんだい
照れてるのかい
らしくないよ？

反応が
童貞っぽ

黙れ



触ってもいい？

あ、
くわえた方が
いいかい？

いきなりかつ



え…？



……だけだ

ん？



その歳で？
地下育ちで？

……



君……潔癖だったよね……
心的外傷によるもの？
あるいは勃起不全……
いや違うか

膨張率も
角度もどんどん
上昇してるし

抱きたいと思った女が
いなかったただけだ



うっうは
えっあっつ!!!
君、本当に
可愛いな

……っ可愛いとか
言うな



いやだって
可愛いし!!!

カアアアツ



ねえ
触りたいよ
君に——

いいかい?



私の可愛い
リヴァイ——

言うな……

近い——

俺しか映らないほどに——



っ…あっ

いい

…んっ

ちゅ



わああっ

ちよっ...

痛いよ

強
く
つかみ過ぎ...

ギョウ
ウ
ン

ン
ン

ん.....っ

しりしり

ギョウ
ウ
ン

ちよつと君
余裕なさ過ぎだろ

やっぱ童貞

黙れ

お前のも
見せろ

はあ

ン
ン

んんっ...

わ……は

これは
照れるね……

リヴァイは
見たこと
あるのかい？
女性器

ああ

あるんだ!!!

もっと汚ねえ色を
してたな

え？
どんな感じで？

ちよっ……

っ……あっ

わあっ!!!

う……っ



痛っっ!!!

時間かけて
慣らさねえと
無理だな

だがもう
待てねえ

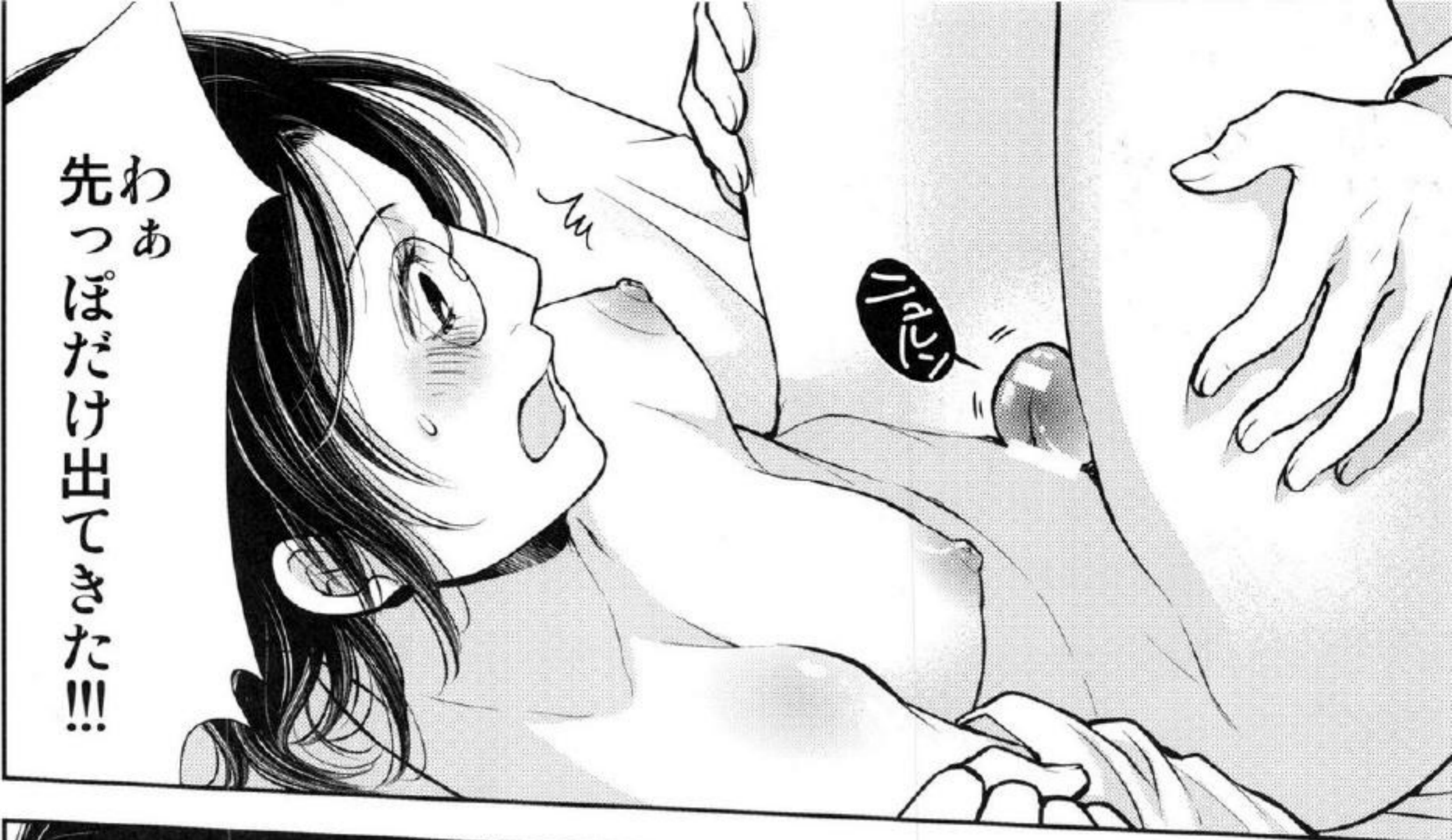


うっつ

わ……っ

安心しろ
やり方は
いろいろある

ズンズン
ズン



わあ
先っぽだけ出てきた!!!



ちよつと
おもしろ...

っ...あつ

ちよつ

激しっ...!!

リヴァアイ
待って.....っ

そんなに
こすっちゃーっ



やっ……っ
ん……ああっ

ヒッヒッ

アッ

ん!!

アッ

ガビョビョ

アッ

アッ
アッ

ヒッ

アッ

アッ

アッ



……なんだか
腰が……痺れる……

はあ、

指先も……

はあ

まだだ

えっ？



ズンズン

ん……ああつ

っあ……そんなに
擦らないで……っ

あ

ア

あ

ん

あ、エルヴィンに
君が兵団になじむまでは
不用意に詮索するなって
釘さされててさ

セックスする
仲なら
大丈夫かなって

STOP!!!

君って
重要人物

何がそんなに
聞きてえんだ

何でも!!!
いろんなことを
話したいな

初対面から
いろいろ
話したいなって
思ってたけど


少し話すだけでも
楽しかったから
話したいって気持ち
大きくなったんだよね

君が思ったこと
兵団で感じたこと
考えてること

本当に何でも
いいんだよ

私は君と一緒の
時間を
過ごしたいなって





お前の目には
俺とは違う物が
見えている……

俺の知らない
俺も——



う……っっ

あっっ……!!!

俺だけを
見てる……



もっ……

俺だけを見てくれ







もう待てねえ

...動くぞ

うーっやつ...
ま...だ...

ガッガッ

ビュッ

ビュッ
ビュッ

アッ
アッ

アッ



あ……

いや、新しい発見
だったな

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

何か話してよ

何をだ

何でもいいよ
痛みが
まぎれる…から

リヴァイばっかり
気持ち良さそうで
ずるいよ……

——ああ
悪くねえ

ど…んな風にさ？

……
溶けそうだったな

え？それって
チョコが!?

ち……

っ…そうだ

へへへ
えええ

ふふふ





狭いと思つてた
壁の中にも
まだ知らないことが
あるんだなつて

!!!



二人で
発見しちゃったね

ああ……

そうだな



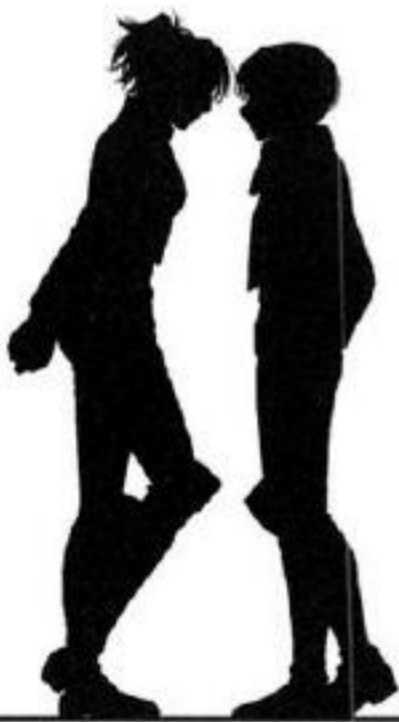
お前のなか腔
もつと調べねえとな

やっぱり
猿!!!

黙れ

またしても リヴァハン初めて物語ですみません マミヤです
何パターン描くんだって感じで……
前回の記憶喪失ネタの、処女っぽい兵長を描くのが
あまりにも楽しかったので 今回は、童貞兵長と処女ハンジさんです
た……楽しかったです。ドキマギ兵長が……！！
兵長がハンジさんを好きになる理由を悶々と考え続けた結果、
過程がどんどん伸び、ページが増えていきました……
ハンジさんが可愛いだけじゃない、いろんな魅力のあるキャラなので、
よけいに…でもまだまだ描ききれない！！
作画中はなかなかエロに突入しないのでイライラしましたw
ああ……もっと、初めて同士の二人がただイチャイチャしているだけの
エロ話が描きたい！！と、脳内でまた新たに続きの話が駆け巡って
いますが、さすがに今回はもう時間と気力が足りません
本当描くネタつきないなー！
ハンジさんのおっぱいは描いても描いても楽しくてたまりません
あ、あと、過去の既刊の兵長の台詞をハンジさんが言っているのは
わざとですw言わせてみたかった……！
そんなこんなで、あいも変わらず欲望のまま突っ走った本ですが
お手に取って下さった方に多少なりとも楽しんで頂ければいいなーと
読んで頂いてありがとうございました！

2015.12 マミヤ



最初の女 最初の男

Levi X Hanz

Attack on Titan unoffical fanbook

no.23

MAMIYA [RIX] PRESENTS

2015.12.29

WEB ; <http://rix.vv.cx>

MAIL ; m@rix.vv.cx

PIXIV ID = 464880

print ; K9



最初の女
最初の男

最初
最初の女
最初の男

Levi × Hanz

R18

adult only

と

ひ

Levi × Hanz

R18



Levi × Hanz

Attack on Titan unofficial fanbook no.23
MADAYA IRIXI PRESENTS
2013.12.29





Levi × Hanz

Attack on Titan unofficial fanbook no.23

MAMIYA IRIXI PRESENTS

2015.12.29

